

前回定例会（平成18年10月4日）以降の行政の動き

平成18年11月1日
新潟県

1 安全協定に基づく状況確認等

- 平成18年10月10日(火) 月例状況確認 県、柏崎市（刈羽村は都合により欠席）

<主な確認内容>

- ・ 1～7号機運転保守状況等について
- ・ 不適合管理状況の概要（8、9月分）について
- ・ 工事計画の概要（平成18年度第2四半期）
- ・ 平成18年度定期検査年間計画（変更版）について
- ・ 原子炉施設の変更計画概要

2 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会

10月27日（金）に技術委員会を開催

<議題>

- (1) 耐震設計審査指針の改訂内容と国の対応について
- (2) 東京電力の耐震安全性評価実施計画書について

<主な意見>

- ・ 東京電力は耐震安全性評価の実施にあたり、原子力安全・保安院の指示に基づいた評価を厳密に行うこと。
- ・ 東京電力は耐震安全性評価を実施していく段階で、適宜地域住民、地方自治体への説明責任を十分に果たすことが重要である。

3 その他

- 北朝鮮による地下核実験実施発表を受けた新潟県の対応について

- ・ 10月9日の北朝鮮の地下核実験実施の報道を受け、県では柏崎刈羽原子力発電所周辺における放射線の通常監視に加え、同日から可搬式モニタリングポスト（空間放射線量率監視装置）を新発田、三条、長岡、南魚沼、上越の各環境センターに臨時に設置して24時間体制で監視強化を行いました。

また、大気浮遊じんに含まれる放射性物質の測定を、国の指示による調査のほか、独自に県内5箇所を実施しました。

- ・ 観測データは、毎日午前10時と午後5時に県ホームページ及び報道機関を通じて提供しました。（10月25日まで。）なお、これまでに空間放射線量率の異常値や人工放射性物質の検出はありませんでした。